

まちのかわら版 第108号

2019年11月1日発行



今年度のきらきら基金助成事業は 2020年2月15日(土) くわなメディアライヴ多目的ホールにて行います

今年度第12回の助成事業は「団体助成」「パートナー助成」「企業の社会貢献活動」「市民活動団体アピールと報告」「高校生の社会貢献活動の報告とアピール」を行います。

皆様の参加をお待ちしています。

●助成を受けていただく団体を募集します 募集期間 11月1日～11月30日

★団体助成 【募集6団体】

対象は、きらきら基金の団体取材を受けていただいたところで、これまでに団体助成を受けていない団体です。2月15日(土)の助成事業で7分間の団体アピールをしていただきます。また、今回は会場からも質問を受け、返答する時間も作ります。来場者は気に入った団体に、100円単位で寄付投票し、その率に応じて原資を按分し助成します。使い道は自由です。

★パートナー事業助成 【1事業につき3万円 募集3団体】

これまでに「団体助成」を受けたことがある団体と、その団体がパートナーとして選んだ団体が、一緒になって行う事業に対して助成します。2月15日の助成事業で10分程度のプレゼンをしていただきます。パートナーとなる団体は、きらきら基金の団体取材を受けていない団体もOKです。

★助成を受けられた団体は、翌年度の助成事業で成果を発表していただきます。

お問い合わせ・ご連絡はお近くの「きらきら基金運営委員」までお願いします。

●社会貢献活動展示・アピール会へ参加して下さる企業を募集します

2月15日の助成事業当日、社会貢献活動についての展示とアピールに参加して下さる企業を募集します。展示30社、発表4社程度募集します。

9月15日、桑員まちのファンクラブ臨時総会を東員町総合文化センターにて開催

当日は、21名が参加され、そのうち会員外の方が8名でした。

臨時総会は、和室に車座になって、和やかに始まりました。

最初に、代表世話人の小笠原まき子さんが、まちファンがゆるやかなネットワークであることや、このゆびとまれ方式で交流会を行い、参加しない自由があることなどを話されました。

次に、代表と副代表世話人の交代が承認され、新代表世話人に川戸由起さん、副代表世話人に小川裕之さんと太田みよ子さんがそれぞれ就任しました。また、監事の西羽晃さんは留任、新たな監事に小笠原まき子さんが就任しました。



会議では、まちのファンクラブの運営について、以下のことを確認しました。

- *まちファンは、個人の社会貢献を行うネットワークである
- *まちファンは、最初に原資を拠出して以来、きらきら基金への支援を行っている
- *桑員の各地で交流会をお世話下さった方を世話人と呼び、世話人会で意思決定をしていく
- *入退会については、まちファンメンバーズ一人の推薦を得ること
- *会費は当面は集めないことにして、新しい会員の入会を増やしていく

まちのファンクラブ交流会「お茶会」

～続いて、最初の交流会「茶会」の報告です～

臨時総会が終了すると、後ろの襖がずるずると開けられて、次の間にお茶会の会場が現れました。奥の隅に風炉が置かれています。床の間には「松無古今色(松に古今の色無し)」と書かれた掛け軸。

矢筈芒、ハゼボタン、カリガネ草、藤袴、朱色の甘草、唐人草、吾亦紅などの茶花が入れられた宗全籠が彩りを添えています。そして、畳の上には鮮やかな緋毛氈が敷かれて…。その美しい光景に、参加者の

方々から、わ～！という声が上がりました。



皆さんが毛氈の上に着席されると、世話人の木下裕美子さんが、茶道表千家教授で南部宗柳茶華道研究所主宰の南

部まり子さんをご紹介されました。南部さんは、東員町まちかど博物館「まつぼっくり博物館館長(子ども歌舞伎)」や「松の会」副会長など、多彩な活動をされておられます。物腰の柔らかいとても素敵な方で、みるみる間に皆さんの緊張が解けていきました。

南部さんの生徒さんがお点前を披露されると、会場はシーンと静まりました。

続けて運ばれてきたお菓子は、「山の香」と「露草」の2種類。松茸の形と鮮やかな浅緑色の菊の形のお菓子に、皆さんの顔がほころびます。5人分がひとつの菓子器に入れられてあり、お隣の人に挨拶してから懐紙に取ります。

お菓子をいただくと、最初の一服が上席の方にふるまわれ、それを合図に水屋から次々とお茶が運ばれて来ました。様々な形の色や絵柄の違う茶碗で、あの柄ステキ、という声が聞こえてきます。

その後お茶を飲み終えた方から順に、皆さんに自己紹介をして頂きました。

南部さんともっとお話しをしたかったし、栗なども



拝見したかったけれど、残念ながら次の予定時間が迫っていて、ここでのお開きとさせて頂きました。お世話になりました南部まり子さんと生徒のみなさん、

そして世話人の木下裕美子さん、ありがとうございました。

第10回桑名員弁地域円卓会議報告

「地域円卓会議」は、三重県の新しい公共推進指針づくりに現場の声を反映させることを目的に、2012年に県内8地域で行われました。桑名員弁地域では、最初の1年間に4回開催をして指針づくりへの報告書を提出したのち、継続して、NPO、行政、企業等、各セクター間の情報交換の場として、多くの関係者の方々と議論を重ねてきました。

この7年間に「自由な言動に責任を問われない未来志向の意見交換の場」に参加され、献身的にご議論を頂いてきた委員の方々には52名に上ります。

今回の第10回を含む「桑名員弁地域円卓会議」で語られたこと。その一部を紹介しますと、「自分たち

の楽しみで社会貢献する市民団体」「ミッション型NPO」「地縁団体」「企業、行政、社協、学校」「マッチングの機会の提供や情報の提示」「世の中の役に立つことに気軽に関われる社会の雰囲気」「簡単に単発でも関われるしかけ・機会」「社会貢献としての企業の立ち位置」「担い手不足」「NPOを支援するひと・もの・金」「地域の経営資源としてのNPO」「多機能自治」「プロボノ活動」「市民が社会を創る」「新しい価値の創造」「起業としてのNPO」などがあります。

これらの詳しい内容は、第1回～10回の報告書としてまとめ、皆様にお届けしたいと思います。

「桑名員弁地域円卓会議」は、今の形には一旦切をつけて、次の10年に向けてどういう動きをしていくか、新たに話し合う場を作りたいと考えています。またお声を掛けさせていただきますので、その時はぜひお集りください！



『桑名まちのファンクラブ』交流会のご案内

●次回まちファン交流会は、野外イベント「24時間火をつなぐ」に集まれ！

日時 11月23日(土)～24日(日)9:00～翌日9:00

場所 天王橋(北勢町麻生田)付近 雨天中止

主催 24時間火をつなぐ実行委員会

☆まちファンは、23日(土)10時～12時半ごろ。一般向け講座(キャンプ講座、防災教室)に参加します。お昼は1品持ち寄りです。

問合せ先 いなべ市民活動センター TEL0594-74-5806



●寺町通り商店街に集まれ！「第5回サンタの行進」

日時 2019年12月8日(日) 11:00～12:00

受付 10:30～11:00 寺町通り商店街 南口横公園 行進:

参加費無料・事前申込み不用

サンタの行進で市民団体の市民活動をアピールします。

寺町通り商店街をサンタのコスプレでのぼりを持って行進します！

皆さんも一緒にサンタの行進をしませんか。

小さなお子さんにはサンタからのプレゼントも！

主催・問合せ先 みえきた市民活動センター TEL 0594-27-2700

12月は三重県の市民活動・NPO月間です

寺町通り商店街や三八市で使える「100円商品券」の入った缶バッジ募金のガチャポンが設置されます！

*** イベント情報 ***

子どもの生きる力を学ぼう！守ろう！ ～子どもの権利について考える～

日時 11月17日(日)14時00分～16時00分

場所 役場西庁舎2階 201会議室

対象者 小学生以上の方

講師 エンパワメントみえ代表 志治 優美 氏

内容 小学生のお子さんから参加できる、子どもの権利についてのワークショップを開催します。

※申込不要、直接会場にお越しください

問合せ 東員町子ども支援係 TEL 0594-86-2872

いなべ「こどもまつり」開催

日時 12月15日(日)10時30分～15時

場所 員弁コミュニティープラザ

内容 「いなべコミュニティースクール」生徒たちの舞台・展示発表、作って楽しめる「おまつりやたい」など誰でも参加できます。事前申込み不要です。

同時に当日・前日のボランティアも募集します。

(申込×切 11月10日) *「おまつりやたい」のサポート *前・当日の準備や後片付 *会場案内・受付など

主催・問合せ いなべこども活動支援センター

TEL 0594-74-5775

「ウェルカムベビープログラム」参加者募集

日時 ①2月29日(土) ②3月7日(土) ③3月14日(土) ④3月20日(金・祝) 9時30分～11時30分

場所 ①～③精義まちづくり拠点施設和室 ④子育て憩いの広場

参加費 2000円(コンサート料金含む) 詳細はこちらから <http://www1.odn.jp/~kuwanakodomonet>

対象 第1子妊娠中期以降の方(第2子以降妊娠中の方で参加ご希望の方はお問い合わせください)

内容 妊娠中の方の気持ちに寄り添いながら、お腹の中の赤ちゃんに触れ合うヒントなどをお伝えします。

主催・申込み・お問い合わせ NPO法人ネットワークくわっこ TEL&FAX 0594-21-0501



ねえねえ教えて！



どうして、みえきた市民活動センターは助成事業をはじめたの？

平成22年に「三重県の新しい公共を支える資源循環の基盤づくり」として、この地域の市民活動のキーマンが集まって「市民活動応援基金」を提案しました。その後どんな基金にするのか、何度も話し合いを重ね、みんなの思いを紡いでいきました。

大好きな町の課題を解決するために活動している仲間たちが、応援の気持ちをお互いに支え合う仕組みにしよう、きらきら基金助成事業が始まったのです。寄付文化の醸成の一助になることを密かに期待しつつ、小さな市民活動を知ってもらえて、つながりが広がることも期待していました。おかげさまで今では、地元で社会貢献活動をしている企業の理解と協力を得て、CSR活動の展示発表もしていただけるようになり、成果も出てきています。



だんだん、地域に浸透してきているんだね！

